事業番号	266

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主文化事業							担当部	教育委員会事務局	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	文化振興課	
	事業期間	平成12年度以前	～	平成31年度以降					担当係	文化振興係	
	総合計画分野別計画 主目的	4 教育文化	15 文化振興	1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します							
	総合計画分野別計画 副目的	15－2							実施計画対象	○	
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	様々なジャンルの一流の演奏家・アーティストを招聘し、本格的で良質な芸術文化にふれる機会を提供することにより、市民の芸術文化への関心を高める。									
	内容（手段）	○26年度実施内容 ・自主文化事業(19,721千円) 市民会館、各市民センターで年間10公演程度自主文化事業を実施。クラシック・子ども向け・落語など様々なジャンルの公演を開催した。職員は、企画、プロモーターとの契約、PR活動、チケット販売、公演会場・ボランティアの手配・タイムスケジュールを含めたコンサート管理、来場者の対応などの運営を行った。 ①サーカスコンサート2014（市民会館）②優秀映画鑑賞推進事業（市民会館）③中部フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会（市民会館）④東日本大震災復興支援チャリティー（市民会館）⑤駒来寄席(北里市民センター）⑥3びきのこぶた＆坂入姉妹童謡コンサート（東部市民センター）⑦和太鼓アンサンブルTOKARA＆和洋楽器アンサンブル・リベルタ ジョイントコンサート（東部市民センター）⑧情熱と哀愁パシオン・フラメンカ（東部市民センター）⑨原田節オンド・マルトノの世界（味岡市民センター）⑩古典の日狂言会（味岡市民センター）を実施した。②は市民会館と協力しチラシ配布や運営を行い、当日の運営は市民団体が行った。 ・自主文化事業鑑賞友の会事業（844千円） 自主文化事業の鑑賞の機会を通して、会員相互の交流及び芸術・文化の向上に寄与することを目的とし、自主企画のコンサートを2事業及び研修会を実施した。 ・こども夢・チャレンジ事業（2,102千円） こどもたちが地元で家族や友人とふれあい、故郷に愛着を持つことを目的に、小牧山でレクリエーションなど親子向けの催しを行った。市内で活動する5団体の公演による市民舞台芸術祭を開催した。歌とダンスで小牧をPRする小牧戦国少女隊の活動支援を実施した。 ・旅費(15千円) ・消耗品費(284千円) ・印刷製本費(940千円) ・手数料(280千円) ○27年度実施内容 ・自主文化事業（21,300千円）・宝くじ文化公演事業（890千円） ・自主文化事業鑑賞友の会（865千円） ・こども夢・チャレンジ文化事業（3,000千円） ・旅費（68千円） ・需用費（1,717千円） ・役務費（1,182千円）・宝くじ文化公演事業負担金(1,300千円)									
	受益者負担	有	自主文化事業入場料 6,511,800円 自主文化事業鑑賞友の会会費 1,000円×306人＝306,000円								

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費			千円	23,660	36,443	24,186	30,322
	正職員	従事者数		人	0.25	0.25	0.25	0.25
		人件費		千円	1,315	1,315	1,315	1,315
	その他職員	従事者数		人	0.50	0.50	0.50	0.50
		人件費		千円	888	755	710	779
	費用合計			千円	25,863	38,513	26,211	32,416
	対前年比			%		148.9	68.0	123.6
財源	一般財源			千円	14,078	27,734	19,393	21,500
	国・県支出金			千円	0	0	0	0
	その他財源			千円	11,785	10,779	6,818	10,916

事業番号	266

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
公演回数	回	目標	7	8	8	7
		実績	8	9	10	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
入場者数	人	目標	5,000	6,000	5,000	5,000
		実績	6,113	5,184	4,183	
自主文化事業への来場者の割合	%	目標	70	70	70	70
		実績	62	55	42	

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	市民会館で開催した歌謡コンサートは目標とした入場者を得ることができなかったが、落語や小牧能など伝統芸能では多くの集客を得ることができた。民間の公演事業の入場料価格に比べ、概ね3～4割ほどの安価な入場料金で、さまざまなジャンルの事業を開催している。来場した市民に良質な鑑賞機会の体験とすることができている。
	事業実施における課題	多数の集客が見込めるような事業内容の選定をはじめ、PR方法を見直すための調査と拡充が必要である。
	事業を縮小・廃止したときの影響	身近な施設において、さまざまな文化芸術鑑賞の機会を提供することができなくなり、文化振興に支障をきたす。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	チケット販売の一部をチケットぴあに委託し、コンビニエンスストアなどからもチケット購入ができるようにする。事業においては、財団法人自治総合センターが実施する宝くじ文化公演事業を平成28年2月に開催する。 一般事務事業において、平成26年度には、文化振興ビジョン中間見直しに係るアンケート調査を実施した。この調査報告書をもとに、平成23年度に策定した市文化振興ビジョンの改訂版を作成し、今後の自主文化事業はじめ、市の文化の方向性を決めていく。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	文化芸術の分野は多岐に亘るため、市民ニーズを反映させるために市民と協働して継続して実施する。また、自主文化事業の実施には、専門的な知識が必要となるため専門家を導入するなどの工夫が必要である。
	28年度以降の改善案	事業費（コスト）と受益者負担のバランスを再検討するとともに来場者の増加を図るため、より要望の多い事業内容の選択と実施事業に対する支持層を考慮した効率的・効果的な周知方法を検討する必要がある。 市文化振興ビジョン改訂版に沿って、文化芸術の促進を図る。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 自主文化事業をより効果的に実施していくため、推進体制としての組織の検討を進めること。